

なぜ、本を読むと良いのでしょうか？

本を読むと良いことは知っていても、具体的に読書でどんな効果が得られるのか、ご存知でしょうか？もちろん、語彙力や、読解力など、学習面の効果もありますが、読書で得られる効果はそれだけではありません。生きていくうえで、それ以上に大切な効果がありますので、ご紹介します。

〈読書の効果〉

①本は世界を広げてくれる

本を読むと、自分の知らなかったことを知ることができます。自然科学や、外国の文化、歴史、社会など、自分の知らないことを知ると、知識が増えたり、物の見方が変わり、広い視野で物事を考えられるようになっていきます。また、物語を読むと、自分のいない世界に行くことができます。日本だけでなく、外国や、過去、未来、さらには、現実には存在しない魔法が出てくるような世界も体験することができます。

②人の気持ちを想像することができる

絵本や物語を読むと、様々な登場人物が出てくるので、普段はなかなか知り得ない人の気持ちを知ることができます。色々な立場や、状況に立った誰かの気持ちを想像することができると、現実の世界とも照らし合わせて、人の気持ちを立ち止まって考え、思いやることができるようになります。

③本は困ったことや、悩みを解決するヒントをくれる

お子様たちは成長に伴って、いろいろな悩みや問題にぶつかるが増えていきますが、誰にも悩みを話せず、一人で悩むお子様も多いです。そんな時に、本に書かれている言葉や、主人公の気持ちや行動に、自分なりの答えを見つけ出し、困難にぶつかった時に、どう乗り越えていくかを考えていく力を養うことができます。

④未来に希望を持つことができる

児童文学は、希望を描く文学なので、この先の未来に希望を持って、期待しながら読むことができます。本を読むことで、未来に実現させたいことや、将来の夢を見つけることができたり、どんな困難なことが起きても、最後にはハッピーエンドが待っていると信じることができたりすれば、明るい未来を信じて強く生きていくことにも繋がります。

⇒①～④の効果をまとめると、「生きる力」ということになります。

本を読むと、生きていく為に必要な様々な力を自然と身につけることができますので、ぜひ、ご家庭でも、読書の習慣を付けていただけると、ありがたいです。

参考：絵本ナビ「なぜ、子どもに本が必要の？」

<http://www.ehonnavi.net/specialcontents/contents.asp?id=2223>

やわたしりつやわたしょうがっこう としよしつ
八幡市立八幡小学校 図書室

ほんのおたより

ねんせい ねんせいよう
(1年生～3年生用)



れいわ ねん がつ にちあきごう
令和7年10月28日秋号

どくしょ あき よ 読書の秋に読んでみませんか？

今回の本のおたよりでは、今年度新しく入った本のなかから、この秋に読んでほしい本をしょうかいします。秋は、暗くなる時間が早くなり、すずしいので、読書をするのに向いている季節です。

八幡小学校でも、11月は、読書月間として、さまざまな取組をしています。図書室のろうかには、八幡小学校の先生のおすすめの本をてんじしていますよ。ぜひ、かりにきてくださいね。

えほん 『イヌと友だちのバイオリン』



デイビッド・リッチフィールド/作 たわらま ちやく ポプラ社

とも おんがく 友だちをつないでくれたのは音楽でした

バイオリンひきのヘクターと、犬のヒューゴは大のなかよしです。ある時、ヘクターは、大きなコンサート会場でえんそうしたいというゆめをあきらめてしまいます。ゆめにチャレンジするには、年をとるすぎたと言うのです。

そんなヘクターに代わって、ヒューゴがバイオリンをひくと、すばらしいえんそうに、またたくまに人ばかりができ、動物だけで樂きをえんそうする樂だんにもさそわれます。ゆめをあきらめたヘクターは、ゆめをおいけるヒューゴをつめたく送り出してしまいました。でも、ヘクターは、ヒューゴの活動をずっと気にしているようです…。

ものがたり『パインさんのごちゃまぜかんばん』

レオナード・ケスラー/作 小宮由/訳 大日本図書 (パインさんシリーズ全3巻)



ゆかいなパインさんのお話です

パインさんは、かんばん屋さんです。「とまれ」や、「すすめ」などの道の
かんばんから、お店のかんばん、イラスト入りのかんばんまで、どんな
かんばんでも作れます。リトルタウンには、パインさんの作ったかんばんが、
たくさんかざられていました。

ところが、パインさんが作ったかんばんが、古くなり、文字がかすれて見
えにくくなってしまいました。そこで、パインさんは、新しいかんばんを作りました。そして、その新し
いかんばんをつけようとしたのですが、その日、パインさんのメガネがなくなってしまいました。家の
中をさがしても見つからないので、パインさんは、しかたなく、メガネなしで、かんばんをつけること
にしました。すると、目がよく見えていないパインさんがつけたリトルタウンのかんばんは、間ちがい
だらけ。一体、どうになってしまうのでしょうか？

ものがたり『どろぼうジャンボリ』 阿部結/作 ほるぷ出版

この本を読むと、きっと、あなたも手紙を書きたくなります

ある町の地下のかくれ家です。どろぼうジャンボリがぬすむものは、みんなの家の
ごみ箱にすてられた「てがみのたね」。何度も下書きしたり、書き間ちがえたり、はずか
しくて出すのをやめてしまったりしたもので、書いた人の「はだかんぼうのきもち」
がつづられていて、ジャンボリはそれを読むのがたまらなくすきでした。

しかし、ある日から、手紙が見つからなくなりました。なんと、新しい町長が、「お
てがみきんしれい」を出したのです。手紙が見つからないジャンボリは、
手紙の代わりに、ほう石や、お金をぬすみませんが、心はふるえません。

ある時、ジャンボリが、「てがみのたね」を集めていた、たから箱にカ
ギをかけわすれてしまい、中の手紙が風にふかれて、町中に広がり、町
の人びとや、町長にもとどいて…。



図書室ミッション

11月4日(火)～11月28日(金)まで、図書室ミッションを行います。図書室や、本
にかんけいのあるミッションをクリアして、10ポイントたまると、プレゼントがありま
す！さらに、ぜんぶのミッションをクリアした人には、ゴリハかんバッジをプレゼント
しますよ！さんかしたい人は、図書室に用紙をもらいにきてくださいね。



図書室ミッション (1～3年生)

☐ ①図書室で新キャラクターを見つける…2ポイント

☐ ③かいたことがない本をかりる…2ポイント

☐ ⑤おすすめの本のしょうかいカードを書く…4ポイント

☐ ⑦お家で、1週間毎日10分いじょう、本を読む…5ポイント (↑⑤・⑥を書く紙は図書室にあります。)

☐ ⑧お家の人に本を読んでもらう、またはお家の人といっしょに本を読む…5ポイント

☐ ②本を4さつかりる…2ポイント

☐ ④先生のおすすめの本をかりる…3ポイント

☐ ⑥本の一言かんそうを書く…4ポイント

①お家の人のサイン

⑧お家の人のサイン

←⑦と⑧は、お家の人のサインをもらってください。

できたミッションに丸をして、この下に番ごうとポイントを書き、10ポイントた
ましましょう。ポイントがたまったら、プレゼントがありますよ！さらに、ぜんぶのミッ
ションをクリアしたら、ゴリハかんバッジをプレゼントします！

ばん
番ごう

○ ○ ○ ○ ○

ポイント

□ + □ + □ + □ + □ = □

1つのミッションは、
1回のみです。いろん
なミッションにちょう
せんしてね！

11月28日(金)
までに10ポイント
ためて、図書室に
もってきてね！

〈保護者の皆様へ ご協力お願い〉

11月の読書月間の取組として、上記のとおり、「図書室ミッション」を企画しています。ミッシ
ョンのなかには、ご家庭での読書習慣をつけたり、保護者様とお子様と本を通してコミュニケーション
を取ってもらえたりすることを目的とした内容のものがあります。お忙しいなか恐縮ですが、読み聞
かせをしてあげたり、一緒に本を読んだり、同じ本を読んで感想を話し合ったりする時間を取って
いただけるとありがたいです。特に、絵本の読み聞かせには、保護者様の愛情がお子様に伝わり、お子
様が、自分は大切にされている、愛されていると感じることができ、自己肯定感を高める効果があ
ります。自己肯定感が高まると、他人を思いやる言動にも繋がります。そして、保護者様からもらった
愛情は、小学生の間だけではなく、生涯ずっと心の中に記憶として残り、ふとした時に思い出しなが
ら、強く温かく生きていく心の支えとなることと思います。この機会に、本を通して、お子様と温か
くゆったりとした時間を過ごされてみてはいかがでしょうか？